

表1 東京都中央卸売市場におけるテッポウユリの鹿児島県産の取扱数量、金額及び平均価格の経年推移

単位:数量(千本)、金額(百万円)、平均価格(円/本)

産 地		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	平均
合 計	数量A	5,195	5,098	4,791	4,880	4,647	4,775	4,257	3,782	3,721	4,572
	金額B	503	462	468	421	417	454	416	381	370	432
	平均価格	97	91	98	86	90	95	98	101	99	95
鹿児島	数量C	1,350	1,402	901	1,186	1,197	1,221	1,009	792	969	1,114
	金額D	138	123	109	95	109	122	101	88	88	108
	平均価格E	102	88	121	80	91	100	100	111	91	98
鹿児島以外 (合計－鹿児島)	数量(A－C)	3,845	3,696	3,890	3,693	3,449	3,554	3,248	2,990	2,752	3,458
	金額(B－D)	365	339	359	326	308	332	315	293	282	324
	平均価格F	95	92	92	88	89	93	97	98	102	94
価格差	(E/F)	107%	96%	131%	91%	102%	107%	103%	113%	89%	104%
数量シェア	(C/A)	26.0%	27.5%	18.8%	24.3%	25.8%	25.6%	23.7%	20.9%	26.0%	24%
金額シェア	(D/B)	27.4%	26.6%	23.3%	22.6%	26.1%	26.9%	24.3%	23.1%	23.8%	25%

※東京都中央卸売市場統計情報 産地別検索(大分類:花き、中分類:ゆり類:品目:鉄砲ユリ)によるもの、各年値は1月～12月

表2 鹿児島県におけるテッポウユリの販売数量及び出荷金額、平均価格の経年推移

単位:数量(千本)、金額(百万円)、平均価格(円/本)

産 地		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	平均
合 計 (鹿児島県全体)	数量A	8,009	6,247	4,827	4,734	4,710	5,215	4,292	3,634	4,209	5,097
	金額B	7,280	6,133	4,696	4,387	4,457	4,889	4,215	3,800	3,547	4,823
	平均価格	90.9	98.2	97.3	92.7	94.6	93.7	98.2	104.6	84.3	95
沖永良部島	数量C	6,151	5,425	3,973	3,925	3,838	4,498	3,653	3,032	3,678	4,241
	金額D	5,750	5,399	3,949	3,816	3,874	4,357	3,755	3,332	3,140	4,153
	平均価格E	93.5	99.5	99.4	97.2	100.9	96.9	102.8	109.9	85.4	98
沖永良部島 以外 (合計－鹿児島)	数量	1,858	822	854	809	872	717	639	602	531	856
	金額	1,530	734	747	571	583	532	460	468	407	670
	平均価格F	82.3	89.3	87.5	70.5	66.9	74.1	71.9	77.7	76.7	77
価格差	(E/F)	114%	111%	114%	138%	151%	131%	143%	142%	111%	128%
数量シェア	(C/A)	77%	87%	82%	83%	81%	86%	85%	83%	87%	84%
金額シェア	(D/B)	79%	88%	84%	87%	87%	89%	89%	88%	89%	87%

※鹿児島県花き生産出荷実績(平成22年～平成30年)からの引用(市町村の生産統計から作成) 数量:販売量, 金額:販売額

表3 東京都中央卸売市場における国産テッポウユリの取扱数量が最大の(株)大田花き市場での取扱量及びシェアの経年推移

単位:数量(本)

産 地		H22～23年	H23～24年	H24～25年	H25～26年	H26～27年	H27～28年	H28～29年	H29～30年	H30～31年	平均
合 計	数量A	778,905	758,048	753,102	691,810	774,375	819,940	618,350	725,985	751,405	741,324
沖永良部島	数量C	641,315	635,498	598,980	549,725	606,435	713,475	483,420	552,655	556,325	593,092
数量シェア	(C/A)	82%	84%	80%	79%	78%	87%	78%	76%	74%	80%

※東京都中央卸売市場大田花き市場花き部 株式会社大田花き出荷実績(各年12月～4月)から作成

表1 東京都中央卸売市場におけるテッポウユリの鹿児島産のシェアは数量で24%、金額で25%(数量金額共に日本一)を占めており、1本あたりの単価は、他県産より平均4%高い。
表2 鹿児島県内のテッポウユリの出荷に占める沖永良部島産のシェアは数量で84%、金額で87%を占めており、1本あたりの単価は、他地域産より平均28%高い。
表3 株式会社大田花きの国産テッポウユリの12月～4月の出荷量の80%をえらぶゆりが占めている。

資料 2

えらぶゆりの社会的評価

えらぶゆりの市場評価について

平成 31 年 2 月 25 日
東京都中央卸売市場大田花き市場花き部
株式会社 大田花き



『えらぶゆり』は、出荷時期が 12 月から 4 月と冬場のテッポウユリ産地として、高い評価を受けている重要な産地である。

特に、年末及び春彼岸において、テッポウユリは大変重要な商材であり、なかでも『えらぶゆり』は、他産地と比較して数量も多く、安定した単価で取引されている。

また、出荷規格の統一、検査体制が整備され品質の向上が図られたことにより、実需者からの信頼もあり、今後の需要が見込まれる。

令和元年 11 月 20 日

えらぶゆりの市場評価について

福岡県花卉農業協同組合

地方卸売市場福岡花市場

代表理事組合長 笠 文樹



鹿児島県は、12 月から 4 月に「えらぶゆり」を安定的に出荷いただける産地としてとても重要です。

花きの消費において、ユリは業務・量販での引き合いが強く、1 本でも高い存在感を持つことから、人気の高い商材です。このため、年間を通じて需要があるのですが、冬季はテッポウユリの出荷量が減少してしまいます。

そんななか、12 月から 4 月に出荷を頂ける「えらぶゆり」は、年末年始や春彼岸の需要期において大変貴重な商材であり、他産地と比べて品質が高く供給量も多いことから、安定した単価で取引ができます。予約相対取引も増加しており、今後も需要の増加が見込めます。

更に、産地を挙げての取り組みとして、出荷規格の統一と検査体制が整備されたことにより、品質の向上が図られたため、実需者からの信頼も高まっています。

えらぶゆりの市場評価について

令和2年4月7日
秋田生花株式会社



『えらぶゆり』は、12月から4月において当市場のシェア86%と数量も多く、また安定した単価で取引されていることから、冬場のテッポウユリ産地として重要な役割を果たしている。

また、出荷規格の統一化や検査体制の整備がなされているほか、南西諸島から出荷しているにもかかわらず、鮮度保持剤や真空予冷により品質保持が図られていることから、実需者からの信頼も厚く、今後も需要が見込まれる産品である。

えらぶゆりの評価について

令和2年4月7日

株式会社みづき



「えらぶゆり」は、純白な花とほのかな香りが特徴であり、近年オリエンタルリリーのような香りの強いものが多い中、香りが強すぎず、凛とした姿のえらぶゆりは葬儀に適した花材といえる。

また、「えらぶゆり」は自然条件で栽培し12月から4月にかけて供給量が多いほか、葬儀業界においても、冬期（12月から2月）は亡くなる方が多い時期になっていることから、需要と供給が合致する商材である。

特に、本県においては、冬期の市場出回り量の多数が「えらぶゆり」となっているほか、単価も安定していることから、なくてはならない花材となっている。

【市場評価補足情報(会社概要等)】

「秋田生花株式会社」

代表取締役社長 橋本 正史氏（令和2年6月15日 電話で聞き取り）

＊秋田生花株式会社は、秋田県で切花取扱量1位を占める市場である。

切花の取扱量はセリ取引が一般的であるが、秋田生花株式会社では「えらぶゆり」の品質の高さを評価いただき、昭和60年から予約相対取引での注文を受けしており、特に年末及び春の彼岸需要期には多くのえらぶゆりを相対で取引している。橋本氏は、秋田生花株式会社の仕入れ担当を長く行い、他産地のユリについても精通している。

「株式会社みずき」

代表取締役社長 大沢 重己（令和2年6月15日 電話で聞き取り）

＊株式会社みずきは、秋田県で花卸事業を行っている会社で、葬儀業界に葬儀用の花材を提供している。またパック花事業も取り行い全国各地の切花を取り扱っている。

えらぶゆりについては、特に年末、春彼岸は多くのえらぶゆりを、予約相対で注文し、葬儀用として指名で購入いただいている。